

探究Ⅰ 特別講義①

平成29年4月17日

テーマ「なぜ探究することが重要なのか？」

講師：京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

講義内容

- ①なぜ、「探究」という取り組みをするのか？
- ②探究する姿勢を持つためには、何を考えて、どう進めればいいのか？

実習内容

- ①身の回りを観察し、気になったこと、疑問に思ったことを書きだそう！
- ②関連図書を探そう！

生徒の感想

・大学に進学したら安心と思っていたけれど、実はそうでないんだなと分かった。先生の言っていたことがすごくドンピシャでドキッとした。自分のことをアップデートし続けていくことが大事なんだなと思った。自分の知らない知識が知れたり、知っていた知識がもっと大きくなってすごく楽しかった。



探究Ⅰ 特別講義①

平成29年4月17日

テーマ「なぜ探究することが重要なのか？」

講師：京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

生徒の感想

・今までの私も、いろいろわかったつもりでいたことを気づかされました。これからの授業(探究)が楽しみにになりました。

・これから探究活動をする上での心がまえを知ることができました。また、「なぜ」「どうして」と疑問を抱くことは大切だと思うと同時に、自分の意見をしっかりと持つべきだと思いました。

・自分が知らない、実感していない所で、このままではどんどん世の中が悪くなるかもしれないと危機感を感じました。また、今、私がこの探究の授業を受けられることに感謝し、この1年で得たものこれから生かすことができるよう努力したいと思います。自分の気になった事に対して友達と話をしたりするといろいろな意見が聞けて新たな発見にもなりました。また、たくさんの情報の中からそのテーマにあったものを探すのは大変だと感じました。



探究 I 特別講義②

平成29年5月1日実施

テーマ「リサイクルのポリエステル繊維培地がもたらす新しい農業

～オール近畿大学プロジェクト～」

講師：近畿大学農学部教授 林 孝洋 先生

講義内容

- ①水耕栽培など巨大プロジェクトの抱える問題
- ②東北復興プロジェクトを通してみえてきたもの
- ③機能展開で発想力を高める

など

生徒の感想

・言葉を何も考えずに聞くのではなく、言葉の意味を考えながら聞くと、いろいろなものの見え方がかわるということが心に残りました。農業のことは何も知らなかったけど、今日で今の農業について知ることができました。

・講義を通して、自分の伝えたいことを単に伝えるだけでなく、どうすると相手に興味をもってくれるかということも大切だとわかった。

・日本の食糧自給率の低さや農業従事者の平均年齢の高さをみてこのままだとこの先どうなっていくのかなと思った。農業に対して全く興味がなかったけど、林先生の話聞いていろいろ考えるきっかけになった。



テーマ「リサイクルのポリエステル繊維培地がもたらす新しい農業

～オール近畿大学プロジェクト～

講師：近畿大学農学部教授 林 孝洋 先生

生徒の感想

・私は、今回の授業を受けて1年間にたくさんのポリエステルが捨てられていることにとても驚きました。農業はたいへんというイメージでしたが、立ちながら作業をしている写真を見て、少しイメージが変わりました。また、3Kの「きたない・きつい・きけん」から「快適・きれい・健康」に私の農業のイメージも変わってきました。土を使わない新しい栽培方法があることを聞いて驚いたし、今までとは違う新しい考え方をすると新しい発見が生まれてとてもおもしろいと感じました。「米を洗う」という言葉を普段何気なく使ってきましたが、「米ぬかをとる」という真の意味を知って他にもたくさん真の意味を知らない言葉が私の周りにもあるんだろうなと感じました。話を聞いていく中で合理的に考えるという事をできるように努力したい。

・今日は農業という専門的なテーマだったけど機能展開など探究を行う上で大切なことを学ぶことができたのが良かった。



探究Ⅰ 特別講義③

平成29年5月29日実施

テーマ「和歌の家・冷泉家800年」

講師：冷泉家時雨亭文庫理事長 冷泉為人先生

講義内容

- ・「考える」ということが大切
- ・日本人としてどう生きていくべきか
- ・和歌の家・京都冷泉家。冷泉家の歴史と文化



生徒の感想

・「無常」という言葉の意味など考えたことなどなかったけれど、1つ1つの意味を深く考えてみることもいいなと思いました。

・冷泉家が800年も続いているのはすごいなと思いました。古今和歌集などにのっているような和歌を詠んでいる人が先祖にいて聞いて、今まで伝統が受け継がれているんだなと思いました。

・「慰撫する」の言葉がとても心に残りました。ありがとうございました。

・「人間とは何か」「有と無とは何か」とあらためて聞かれて考えるとすごく難しいと思いました。普段深く考えないことを改めて考えることはおもしろそうだなと思いました。



探究 I 特別講義④

平成29年6月19日実施

テーマ「外交の現場から再発見した日本」

講師：元駐ウクライナ大使 馬淵睦夫先生

講義内容

1. ウクライナにおける日本文学授業
(異文化理解のあるべき姿)
2. キューバのカストロ議長は親日家
3. 外国は日本の何に関心があるか
4. 日本の対外援助(経済協力)の原点

生徒の感想

・日本の文化を知る機会があったけど、私は「知る」ことに満足してそれに対する「誇り」や「気持ち」を含ませるこなかったことに気付かされました。将来、どこか海外を訪れてみたいと思っていますが、その前に日本の文化にもっと関心をもっておくべきだと感じました。キューバのカストロ議長のお話では、私の知らない外国、そして、外国から見た日本を同時に知ることができました。これは、外交に携わった人しか知り得ないことなので、「外交」に対してすごく興味がわきました。

・聞きやすい話ばかりでとても面白かったです。私たちが考えている以上にカストロ前議長さんは考えているということも分かり、凄いなと感じました。日本の美しさや、外国の面白さなどを知ることができ内向きに生活するのはダメだなと思いました。

生徒の感想

・私は他の国へ行ったことがないので、先生の言っていた「美しい」とは何なのかは頭に浮かびませんでした。私がまだ味わったことがない景色であったり、文化が広がっていたのではないかと思います。

・“幸せ”とは物があるからではない。“心”によるものだ。日本には物がありすぎていると思う。目に見えない幸せに気付くことが大切だと思った。



テーマ「古代チベット史研究へのアプローチ」

講師：神戸市外国語大学 客員研究員

非常勤講師 西田 愛先生

講義内容

- ①研究とは？
- ②チベットとは？
- ③古代チベット史研究へのアプローチ

生徒の感想

・今回の講義はテーマの内容だけでなく、自分たちが行う探究について自分たちにまだまだ足りない考え方ややり方、アドバイスを教えていただきました。今までもマンダラートなど本を読むだけで少しはやり易くなったけど、問題を自分の感じたことからだけでたくさん見つけていくことは本当に難しかった。そこには自分自身の知識や情報がそれだけでは足りなかったことだと分かりました。フィールドワーク、自分たちも実際にやるなら日記をつけるということを実践してみようと思いました。

・西田先生は自分の好きなことを調べて、それをまた広げていってすごく楽しそうに研究しているんだと思った。私は、チベットのことなんて初めて聞いたし興味もなかったけど、調べていることが事実だと分かったり、世界で1つと提示できることが、聞いているこちらでも大変おもしろいと思った。



探究Ⅰ 特別講義⑥

平成29年7月12日実施

テーマ「プレゼンテーションⅠ」

講師：京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

講義内容

- ・プレゼンテーションとは何か？
- ・プレゼンテーションで、最も重要なこと
- ・プレゼンテーションの本質を理解すれば、表現が変わる。

生徒の感想

・プレゼンテーションは相手をどういう気持ちにさせたいかを考えなければならないことを知りました。私はどれだけ上手に発表できるかという考えでした。どれだけ上手でも自分の好きなことをズラズラと話しているだけの「自己満足」になってしまふことを学びました。プレゼンテーションを自信を持ってイキイキと行えるようにしたい。

・自然と引きつけられる先生の話に本当に驚きます。興味がないことも、話を聞いていると興味が出てきて不思議です。私も班の発表がありますが、先生のように興味を引きつけられたらなと思います。

・私は人前で話すことが苦手であまり好きではありません。情報をしっかりと集めることによって人前で自信をもって発表することができると思いました。これからそうしていきます。



兵庫県立東播磨高等学校

2017 学校説明会



「自然と人間探究類型」について

① 「探究Ⅰ」の説明



② 「リーダー研修」の説明



11月7・8日のオープン・ハイスクールでは「探究Ⅰ」の中間発表を予定しています。

在校生（生徒会代表）からのメッセージ



クラス中間発表①

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

7班 稲美町の空気きれい説



4班 交通事故 O PROJECT



1班 色と食物の関係



3班 血液型=性格?! ~血液型と相性・性格の関係性って?~



クラス中間発表②

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

5班 和菓子と洋菓子



2班 若者の敬語の認識



6班 モテ期を訪ねて三千里



8班 「ポイ捨て」が及ぼす環境への影響



クラス中間発表③

講師：京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

各班に吉田先生から丁寧なアドバイス



発表時間 各班5分，助言 3分
評価シートを用いて、相互評価を実施
(感想)

・自分たちの班以外の発表を聞いてみて、スライドも色を使ったりして見やすかった。また、問いをより深く調べて問題として提示しているのが良いと思いました。

・吉田先生からのアドバイスでは「人を変えられるように」という言葉にはっとさせられました。私たちはテーマを決めるということにいっぱいだったので、プレゼンの本質を忘れていました。この中間発表を通して、より探究への意欲が高まりました。

・吉田先生のおっしゃっていた通り、自分たちには探究していくための基礎知識が足りていなかった。これから進めていく中でしっかりと基礎知識を身につけ、中身の濃い探究をしていきたい。



「自然と人間探究類型」の取り組みについての説明



「探究 I」 クラス代表2班による発表



「リーダー研修」を紹介

探究Ⅰ 特別講義⑦

平成29年12月14日実施

テーマ「知的好奇心の深化に向けて ～地域再生への取り組みを通して～」

講師：兵庫大学 現代ビジネス学部
教授 高野 敦子先生

講義内容

- ①熟議2017 兵庫大学の取り組みについて
- ②REASAの取り組みと利用について
- ③統計処理における効果的なグラフの利用について

生徒の感想

・一番印象に残っているのは、AIにとってチェスのチャンピオンに勝つことよりも、ネコの画像をネコと認識する方が難しいということです。人間にとっては簡単なことだけどAIにとっては難しい。人間にとって難しいことでもAIにとっては簡単という事がもっとあると思うので、AIと人間の作業を分担していったらいいと思いました。

・長野県の高校生のプレゼンテーション。話し方・スピード・スライド・まとめ方のすべてが分かりやすく、人に伝えたいというのがすごく分かりました。アイデアは独創的だけど根拠や考えがしっかりとっていて本当にお手本にしたいと思いました。グループで発表準備をされていて最近思うように進んでいなかったため、今日の講義はとても参考になりました。

・高校生のプレゼンテーションはとても興味深かった。どうしてこの議題にしたのかなど、「負のスパイラル」という理由を明確にされていてとても分かりやすく、すんなりと頭には入ってきた。これからの動きや提案もとても納得したし、データの表し方も見やすくとても参考になりました。



クラス発表会①

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

5班 和菓子と洋菓子



4班 交通事故ゼロ PROJECT



1班 色と食欲の関係



2班 使っている敬語って本当に正しい？



クラス発表会②

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

6班 モテ期を訪ねて三千里



7班 稲美町の空気について



3班 血液型=性格?!



8班 Stop littering Do not leave garbage
~ポイ捨てを減らすために~



クラス発表会③

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

発表時間 各班 約7分 , 助言 約3分
評価シートを用いて、相互評価を実施

各班への適切なアドバイスと「探究」の可能性を話していただきました。

(生徒の感想)

・本番直前で警察署に行き、スライドを完成させたので、無事終わるかとても心配だったけれど、みんなに伝えたいことはしっかりと伝えることができました。でも、テーマと内容がずれているところがあったので、そういうミス無くせるようになりたいと思いました。また、こういう機会があれば、もっとクオリティーの高いものを作れたら良いなあと思います。

・1年間ずっと探究活動をしてきて、今日がその発表の日だと思つとワクワクドキドキしました。どの班もすごく良い発表でおもしろかったです。吉田先生のアドバイスは全て心がこもっており、「なるほど、確かにそうだな」と思うものばかりで、自分たちには気づけていなかった部分が多かったです。これから何かできないことが出てきたら、解決策を生み出すためには、探究が活かされるようにしたいと思いました。

・いろいろなテーマやまとめ方を見て、自分たちの班にはできていないことや、自分の考えと違う考えがあるということがよくわかった。

